参考様式①

福山市立道上小学校　スタートカリキュラム計画

令和７年３月２４日作成

学校教育目標　豊かな心をもち、共に高まり合う子どもの育成

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3

育ってほしい児童の姿

入学当初の児童の姿
〇小学校はどんなところだろう。
〇新しい友達をつくりたいな。
〇勉強をしてみたいな。
〇一人でできるようになりたいな。

お兄さん、お姉さんはすごいな。
あんなふうになりたいな！
私にも、できるかな？

〇学習に意欲的に取り組もうとする。
〇生活経験と学習内容を繋げ、文字や数を楽しみながら使う。

〇興味・関心があることを進んで考えたり調べたりすることができる。
〇学んだことを生活経験と繋げ、様々な場面で使うことができる。

園所ではいろいろなことをしてきたよ
学校ではどんなことをするのかな？
早く知りたい、やってみたい！

〇遊びや体験を通して、身近なものに積極的に関わり、予想したり、比べたり、分類したり、確かめたりする。
〇学校生活におけるルールを知り、身の回りのことを自分でしようとする。

〇友達と考えを出し合いながら気付きや考えを広げていく。
〇学校のきまりを守って行動する。

小学校ってどんなところかな？
友達できるかな？楽しいといいな！

〇新しく出会う先生や友達と進んで関わろうとする。

〇友達と協力して活動する。
〇自分の思いや考えを言葉で伝えることができる。

期待する児童の姿

「よりよい自分」をめざして、
「みんなで伸びる自分も伸びる」

〇体験を通して数や言葉を獲得し、活用することができる。
〇友達の考えを聞き、よいところを見つけ、仲良く活動しようとする。
〇活動の内容が分かり、最後までじっくり考える。

主な学習活動

生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動の充実
単元名「がっこうとなかよし」（9H）
・学校探検をしよう
国語科「こんなもの見つけたよ」
「なんていおうかな」
算数科「10までの数」「なんばんめ」
道徳「はりきり１年生」

失礼します。学校探検に来ました。

生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動の充実
単元名「はなややさいとなかよし」（10H）
国語科「つぼみ」「おおきくなった」
算数科「あわせていくつふえるといくつ」

芽が出てきたよ。
触るとツルツルしているね。

生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動の充実
単元名「なつはおもしろいことがいっぱい（7H）
→年長児とシャボン玉あそび交流会
国語科「こんなことがあったよ」
算数科「あわせていくつふえるといくつ」
図画工作科「すなや土となかよし」
体育科「水あそび」

もうちょっと洗剤を入れたら、シャボン玉はどうなるだろう

生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動の充実
単元名「あきとあそぼう」（13H）
「おいでよ　あきのテーマパーク」（6H）
→年長児とあきのテーマパーク交流会
国語科「しらせたいな、みせたいな」「日づけとよう日」
「てがみでしらせよう」
算数科「たしざん」「ひきざん」「たすのかなひくのかな」
図画工作科「はこでつくったよ」

２＋３＋６で、得点は１１点だよ。

生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動の充実
単元名「もうすぐ２年生」（6H）
→年長児と体験入学
国語科「いいこといっぱい１年生」「これは何でしょう」
算数科「なんじなんぷん」
道徳「大すきだから」

学校の楽しさを伝えるには、どうしたらいいかな。

環境構成（人・もの・こと等）

【人】
・交通指導員　見守りボランティア　通学班など多様な人との関わり。
・給食や掃除を６年生に手伝ってもらい、関わりを増やす。
・１年生を迎える会で異学年との交流を図る。
・学校支援員を配置する。
【もの】
・物の場所や片付け方、学習内容などを掲示し、見通しを持てるようにする。
・廊下に材料コーナーを設置し、自由に遊べる環境を作る。
【こと】
・就学前に取り組んだ活動や遊びを取り入れ、安心感をもって登校できるようにする。
・学習時間の配列や時間配分の工夫。（モジュール時間の活用）
・４月は、わくわくタイム、なかよしタイム、ぐんぐんタイムといった柔軟性のある時間割で接続を円滑にする。
・朝の自由時間を取り入れる。

【人】
・行事や授業を通じて異学年での交流を行う。
【もの】
・児童の興味、関心に応じて自ら調べたり、試したりできる環境づくりをする。
・空き箱などの材料をいつでも誰でも使えるようにストックしておく。
【こと】
・園児との交流を設定し、お兄さん、お姉さんとして自己を発揮できる場を設定する。

【人】
・新入生との交流活動を仕組み、園児の立場になって交流内容を考えられるようにする。
・新入生との交流を通じて次年度への期待感を高める。
【こと】
・行事を通じて自分の成長を実感できるようにする。
・全職員に共通理解を図り、来年度の協力体制を整える。

園・所との連携

・入学予定児童の交流　・前年度年長担任の訪問、読み聞かせ
・学区民運動会　・幼保小連携合同研修会
・シャボン玉遊びの交流

・園所見学、交流　・小学校授業参観
・校内音楽発表会　・あきのテーマパーク招待

・小学校授業参観　・入学予定児童の交流
・次年度スタートカリキュラム検討　・幼保小連携合同研修会
・体験入学

組織との連携

幼保小連携協議会の年間計画（別紙）に基づいて実践

道上幼保小連携協議会の案内
※就学時健康診断の際、児童名・住所、入学の有無　出身園を調査
※すべての出身園へ「案内」と「入学前児童資料」（別紙）を送付

家庭との連携

・入学当初は学年通信を毎週発行し、子どもの様子や頑張りを伝える。
・連絡帳や電話連絡、クラスルームを活用して児童の気になる様子などを連携していく。
・町内会別参観日で授業の様子を参観してもらう。

・学年通信や連絡帳、クラスルーム、電話連絡で子どもの頑張りを家庭に伝える。
・行事や参観日で、日々の子どもの頑張りを参観してもらう。
・園所の保護者に交流時の子どもの様子を伝えてもらい、入学後の姿を想像したり、安心感を持ったりできるようにする。

・学習の成果物を持ち帰り、成長を児童とともに喜んでもらう。
・入学説明会で、来年度に向けて学習の進め方や４月の学習の様子を紹介し、安心感を持ってもらう。